

授業科目	*在宅看護学演習					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	石井 美紀代、吉原 悅子、鹿毛 美香、井手 裕子、佐藤 歩美						
授業概要	<p>実務家教員として、患者と家族が自宅での療養を選択した場合に、「住まい」における看護の特徴、「訪問看護」の方法を伝える。</p> <p>内容は、模擬事例での看護過程の展開、看護技術の工夫、臨床推論を通して、訪問看護の視点と技術を身につける。また、社会問題となっている在宅医療・介護の問題を、多職種連携のもとで解決に向けた方向性を探り、在宅ケアチームにおける看護の役割を考える。</p>						

授業形態	対面授業	授業方法	グループワーク ロールプレイ
------	------	------	-------------------

#### 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 在宅看護過程の展開を通して、在宅看護の目標・課題解決方法の特徴が説明できる。 2. 在宅看護過程の展開を通して、事例の状況に応じて社会資源の導入を考えることができる。 3. 在宅療養者と家族を支えるために、他職種・他機関と連携する必然性を説明できる。 4. 在宅療養に対して安全な看護・自立を支援する看護技術の計画を立案できる。 5. 訪問看護において、状況に応じた看護を提供する知識を獲得する姿勢をもつ。 6. 看護専門職として、療養者の居宅に1人で訪問する職業倫理を考え、自分の言葉で述べることができる。
理想的レベル	標準的なレベルの知識、思考、関心、態度を修得した上で、グループでの演習課題に対してリーダーシップが取れる

#### 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	50%	看護過程の展開（ワークシート）
その他	0	

#### カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU31403J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

#### 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

紙上事例の疾患の成り立ち、疾患のなりゆき、看護技術の手順、利用可能な社会資源を調べる。 授業中に完成できなかった作業は、ディスカッションできるように次の授業までに完成させておく。	1
--	---

#### 授業計画

第1回	テーマ：療養者の生活の場への訪問技術（1章・3章）（石井） ・療養者宅を訪問する技術 ・訪問看護のコミュニケーション技術
-----	--

第2回	テーマ：訪問看護の記録（1章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・訪問看護で使用される書類と記録 ・看護過程に用いる『総合的機能を構成する4領域』の解説
第3回	テーマ：在宅看護過程の情報収集（1章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・在宅看護に必要な情報の種類と範囲
第4回	テーマ：在宅看護過程の情報収集（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・在宅看護に必要な情報を得る
第5回	テーマ：在宅看護過程のアセスメント（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・『総合的機能を構成する4領域』を使って情報を分析する ・考えられる看護問題を抽出する
第6回	テーマ：在宅看護過程の課題と目標の設定（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・要望を踏まえた援助の方針/課題と優先順位 ・目標設定の視点
第7回	テーマ：在宅看護過程の包括計画/看護計画（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・包括計画の考え方 ・包括計画と看護計画の立案
第8回	テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・事例に必要な看護技術を抽出し、手順を調べる
第9回	テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・事例の個別性を考慮した看護技術の手順と根拠を考える ・個別の環境、限られた物品での看護技術の工夫
第10回	テーマ：在宅療養の場での看護技術の提供（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・看護技術の提供
第11回	テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・看護技術を振り返り、個別性を考える
第12回	テーマ：訪問看護における臨床推論（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・看護過程と臨床推論の関係 ・訪問時の療養者の状態観察
第13回	テーマ：訪問看護における臨床推論（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・療養者の状態観察から、予定していた看護提供が可能かどうかを推論する
第14回	テーマ：訪問看護における臨床推論（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤） ・療養者の状態に合わせた看護技術の提供方法を見直す
第15回	テーマ：訪問看護における臨床推論（石井） ・療養生活のリスクと臨機応変に対応する意義を考える
テキスト	地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	地域・在宅看護① 地域療養を支えるケア メディカ出版 その他、出版授業内で、適宜、紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	提出ファイルは、後の講義中で総評し、返却します。

学生へのメ  
ッセージ・  
コメント

15 回の授業で、訪問看護のプロセス（情報収集→看護計画の立案→看護計画に沿った看護技術の提供→療養者の状況を判断する臨床推論→臨機応変に対応した技術提供）を学びます。病院の看護との共通点、違いを考えていきましょう。

グループワークと個人ワークを組み合わせて実施します。在宅看護の知識・技術に加え、グループに協力する行動、リーダーシップ、メンバーシップを学び、後期の実習に繋げましょう。

※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。

